環境にやさしい有機農資材

糖度・着色・生殖生長専門剤

花色果

ＡＴＰ生成, 天然有機リン酸「花色果」

包装単位 5ℓ, 1ℓ, 500㎖

花 **生殖成長の転換´ 花芽の分化促進**
花色果は天然有機リン酸製剤で、体内の窒素を燃焼させて生殖転換を誘導、花芽の分化率を高め、受精率を増大。

色 **果実および野菜固有の着色を促進**
生殖転換の促進で果実および野菜類固有の着色因子の発現により, 濃い色の作物を収穫。

果 **糖の合成および増進**
窒素の燃焼, 活性エネルギーATPの生成促進で糖合成を増進して糖度の高い作物を収穫。

花色果の使用方法

葉面散布：葉面散布用の**花色果**を500倍を目安に散布

- 窒素緩和、花芽の分化促進 － 開花1週間前に3~4日間隔で2回散布
- 糖度、着色増進 －果実、実の初期肥大期に7日間隔で収穫期まで散布

潅注施肥：潅注用の花色果 5ℓを400倍(100マス) を薄めて400坪~600坪に潅注

- 花芽の分化･受精率の増大 － 開花10日前に1~2回潅注
- 着色･糖度増進 － 果実、実の初期着色期に7日間隔で潅注
- 窒素調節、草勢緩和 － 必要のときに潅注

「花色果」使用時の注意事項

- **花色果**を葉面に施すときは、農薬との混用は2種以上の混用は避け、少量を試したうえで使用してください。
- ホルモンおよび合成製剤が全く含まれてない天然かつ安全な製剤で、きれいな果実が収穫できます

糖度・着色・生殖生長専門剤

花色果

環境にやさしい有機農資材

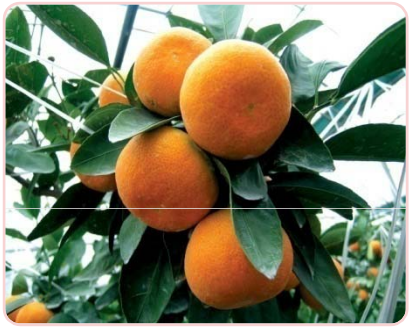
着色強化, 着色促進, 熟期を早めてくれる花色果

▲ 花色果の処理前

▲ 花色果の処理前

▲ 花色果の処理前

▲ 花色果の処理後

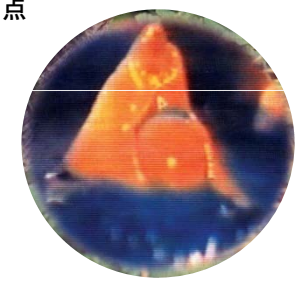


▲ 花色果の処理後

▲ 花色果の処理後

• 済州の南済州シンフン里　ブ・ムヒョンさん
極早生ハウスミカン05年花色果　着色初期5ℓを80マス希釈して7日間4回散布
余年に比べて収穫時期を5日間早めた　－クレフノン処理なし

◆イチゴ苗に花色果
300倍の潅注時に花芽分化された
イチゴの生長点



環境にやさしい有機農資材

糖度・着色・生殖生長専門剤

花色果

受精果の着果促進、窒素燃焼、雌花の着色率を増大します。

▲ 花房の**展開後**, 14日間隔に花色果を潅注 – イチゴ

花色果の2回7日間隔で潅注花芽分化が早く窒素抑制に効果がいい。

▲ **花色果**の2回潅注 – 勢力が強化される – カボチャ

雌花の節の発現率が高く、勢力が高められます。

▲ 花房の**展開後**, 14日間隔に花色果2回潅注 – イチゴ

開花前の4月花色果の葉面施肥400倍で花色が濃く、花粉が多く着果率の増大、受精率がよくなりました。

▲ 開花前の**花色果**の1回葉面施肥 – モモ

◆ **花色果に含まれたＡＴＰエネルギーは, 果実の着色を促して収穫期を早め, 野菜固有色の発現を促進してきれいな色合いに仕上げる。**

▲ 糖度を高めるだけでなく、着色も強化。

▲ 塾期の調節と着色強化

▲ 濃い着色と収穫期を調節

▲ 夏場の収穫期の増大および糖度強化

▲ 赤くて濃い色合いに仕上げてくれる花色果

▲ ネット発現の促進および塾期調節

▲ 生殖転換率が高く、均一な着色

▲ 濃い色合いと旨み豊かな完熟と収穫